

第24回GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時 2021年 7月9日(金) 10時00分～11時30分

2. 開催方法 WEB会議室

3. 参加者 (敬称略)

委員長 吉開 守

副委員長 井上 好道

委員 萩野 豊明

同 松村 孝

同 清水 壱浩

同 矢野 雅美

同 荒木 勇輝

同 山下 俊哉

同 竹内 康洋 (代理)

オブザーバー 竹中 史朗

事務局 大石 直豪

欠席 水島 高弘

議事経過

初めに事務局より開催宣言があり、吉開委員長より6月22日に本工業会が法人化してオンラインではあったが初の集合形式での総会に替わる報告会が開催されたが、本委員会は1年位対面での議論が行えていない状況が続いている。コロナの状況もワクチン接種が進んできており明るい兆しも感じられるので、次回か次々回は対面方式で委員会を開催したいと思う。

また、しばらくはコロナ禍の中で活動を継続して行くが、活動対象先も研修や説明を聴く効率的なスタイルが浸透してきているので、今年度計画している内容は確実に進捗させていきたい。今年度の活動計画に基づく進捗状況について、活発な議論をお願いしたい旨の挨拶があり、議題に入った。

議題1：2021年度委員会活動状況の共有について

事務局より本編資料と添付資料に基づいて、委員会全体の活動状況、各支部の2020年度活動報告と、2021年度活動計画について詳細な報告があった。

1. GM更新計画の普及啓発活動

1) 地整/県への活動 : 本編資料通り

※各支部：2020年度活動報告・2021年度活動計画についての報告。

支部別・都道府県別の計画は内容に変化があり次第、更新した上で事務局へ提出頂くように要請があった。

2) 水コン協への活動 : 本編資料通り

3) 管診協との取組み : 本編資料通り

※下水道展併催企画で本工業会共催の研修会については、下水道展ホームページから、参加申込する必要があるとの報告があった。

下水道展ホームページURL：<https://www.gesuidouten.jp/Seminar/kikaku/#naiyou22>

4) 管路協への活動 : 本編資料通り

活動対象先への研修会開催方法については、リアル(集合形式)、オンライン、動画配信、資料配布の4つのパターンが考えられる。

新たなJGMA ホームページ上に、研修会動画(2020年度版)をアップしているので提案活動等に活用頂きたい。

研修会動画URL：<https://jgma.gr.jp/manholecover/%e7%a0%94%e4%bf%ae%e4%bc%9a%e5%8b%95%e7%94%bb/>

更に、オンライン、動画配信研修においては受講者アンケートの回収が難しくなることも想定し、オンラインアンケートの導入を試行したいとの案内があった。

吉開委員長よりまずは8月3日開催の茨城県研修会でオンラインアンケートを試行するように指示があった。

受講者オンラインアンケートURL：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScE_y0hWY-i7AT91_mm-eVV1H_RPS5WfITLk3HKNNw2H-ACcw/viewform

2. GM維持管理における基盤整備

1) 国交省雛形資料へのGM追記と早期周知：本編資料通り

（「下水道台帳管理システム標準仕様（案）・導入の手引きVer. 4（以下、台帳システム手引きVer. 4）」の改定状況について説明があった。

更に吉開委員長から今回の改定により、GM情報が下水道台帳に整備される効果について、タイプ・GM単独の布設・改築年が判ることになると思われる為、GMの改築計画が立案し易くなり改築が進展することが期待される。

国交省においても、DX戦略の一環として考慮し、令和7年度までに下水道台帳の電子化100%を目標とすることが発表されており、GMの更新も乗り遅れないように活動していく。

2) 白本へのストマネ計画策定歩掛_GM編の反映に向けた動向把握：本編資料通り

3. GM維持管理の広報活動

1) 下水道事業団(JS)研修会への講師派遣：本編資料通り

2) マンガ広報を活用したGM改築の予算獲得：本編資料通り

・国交省の「循環のみち下水道賞」にマンガ広報を応募したこと。

またGKP広報大賞についても応募する計画との説明があった。

・マンガ広報第2弾の企画内容の詳細と、第3弾で完結させるとの説明があった。

補足として、吉開委員長より第2弾は、老朽化して陳腐化し危険なGMが多数残っていることを認知頂く構成とし、第3弾はGMのマネジメント(改築)を進める為に、事業計画を立案していく構成にしていくとの説明があった。

3) マスメディアを活用した企画記事

台帳システム手引きの改定版が発刊されたのちに、GMの台帳管理項目や先行する下水道事業体の事例を新聞社に取材頂き、GMの情報収集の流れを作っていく。

その他

事務局から8月17日(火)～20日(金)まで開催される下水道展において、工業会の共通パネルを作成する。(添付資料-6を参照：まだ原案段階のため、完成後に再提示する)

パネルで訴求するポイントは以下の通りであると、吉開委員長より説明があった。

(1)GMに関するデータベースに蓄積されるべき情報項目を示していること。

(2)管マネガイドラインのCAPDサイクルに沿って、GMの特性に応じた2つのサイクル(詳細な点検・調査を経ずとも改築に進むサイクル/点検・調査など維持管理を行った後に改築に進めるサイクル)を示していること。

更に、下水道展出展社にはJGMA共通パネルを展示して頂く為、出展社の希望するパネルサイズを事務局より確認する。

その後、質問・意見を募ったところ、次の意見があった。

パネルに記載する情報は、パネルを見る人へ短時間でポイントを訴求できる内容に仕立てた方が良いと思う。

⇒原案はまだ文字が多いので、もう少し視覚から情報が入るデザインへ仕上げていく。

以上により本日の議事を終え、最後に井上副委員長より長寿命化計画からストックマネジメントに進展して更新需要が喚起されているのは実感しているが、更なる更新需要創出に向けて下水道台帳システムの改定については大きな期待が持てる。

またマンガ広報誌については、老朽化して陳腐化したGMの啓発には有効なツールであることから、積極的な活動に活用していきたい。

次回の委員会は集合形式での開催できることを祈っている。との挨拶があり委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2021年 7月9日

一般社団法人

日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長 吉開 守

